

活動の場所

愛知県瀬戸市海上の森他
名古屋市



活動目的

あいち海上の森フォーラムでは、愛・地球博の理念を継承し、生物多様性の保全や人と自然の共生をより深く追求し、その取組みを発信するとともに、持続可能な社会づくりをめざしています。

活動内容

1 あいち海上の森フォーラム シンポジウム

①海上の森研究課題の発表 3題 13:15~14:45

- i ヒノキ林に生息する土壌動物の群集構造にルートマットが果たす役割
名古屋大学大学院 生命農学研究科 林 亮太氏
- ii 異なる表層地質に生育するヒノキの地上部成長—花崗岩層と砂礫層—
名古屋大学大学院 環境学研究科 杵山哲矢氏
- iii 湧水湿地における植物と環境の相互関係
名古屋工業大学大学院 工学研究科 澤田大誠氏

②特別講演 14:50~15:50

テーマ 『里山の予防医学:資源の循環的利用で健康に持続』

神戸大学名誉教授 京都大学生存圏研究所特任教授 黒田慶子氏

③質疑応答・意見交換 15:50~16:45

2 研究課題の募集・選定(大学生等) 6月~11月 2組程度

海上の森を対象とした研究課題(内容は自由)を募集し、選定する。

選定した課題の実施・発表(次年度フォーラム)を通して、若い人の関心や問題意識を高める。

3 共生ネットワーク推進事業 6月~11月 5団体 100名

人と自然の共生に関わる活動を支援し、広く啓発・啓蒙を図る。

助成金 13,000円/1団体

4 海上フォーラム活動団体顕彰事業 6月~10月 2団体程度

県内で人と自然の共生を図っている団体等を募集し表彰することで、活動を顕彰するとともにその活動を広く紹介し、フォーラムと連携して活動の輪を広げる。

謝金 10,000円/1団体

5 海上フォーラム写真募集事業 6月~10月 5点程度

人と自然の共生をテーマとした写真を募集し、広く発信することにより、人と自然の共生や持続可能な社会づくりの啓蒙に資する。

謝金 5,000円/1点

6 フォーラム報告書の作成 1月末 150部

フォーラムの取組みをまとめ、幅広く発信する。

PRしたいポイント

- 2005年開催の「愛・地球博」の成果を継承する取組みで、人と自然の共生、持続可能な社会づくりを目指している。
- 自然環境保全、生物多様性保全などをテーマに多角的な視点からのシンポジウムを開催している。
- 連携ネットワーク事業を通して、参加体験学習を実施している。
- 学生さんを対象に瀬戸市海上の森での課題研究を広く募集し、若い人の参加を促している。
- 他の活動団体を顕彰し、活動の和を広げている。

活動効果、今後の展開 等

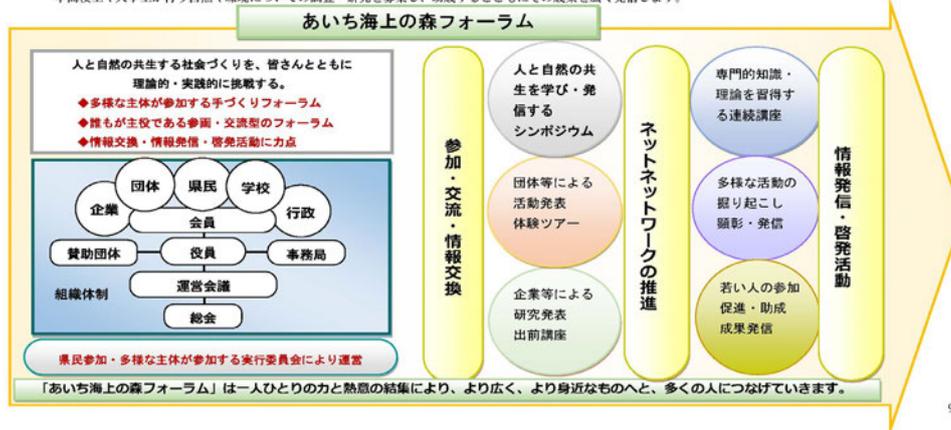
事業展開の評価



今後の展望

《人と自然が共生する持続可能な社会づくり》に地道に挑戦します。

- ◆参加交流・情報交換・発信・啓発活動に力点
昨々のテーマを設定したシンポジウムやセミナーを通して、参加交流・情報交換・発信・啓発活動に力点を置いて活動します。
- ◆ネットワークの推進
企業や取組みや役の担っている団体や個人の活動発表や取り組みの紹介などで連携を深め、ネットワークを固めていきます。
- ◆多様な活動の掘り起こしと顕彰・発信
色々な分野で活動している多様な取組みを掘り起こし、優秀な取組みを顕彰するとともに、広く発信する事業を進めます。
- ◆中高校生・大学生など若い人の参加促進
中高校生や大学生が行う自然や環境についての調査・研究を募集し、助成するとともにその成果を広く発信します。



あいち海上の森フォーラム実行委員会

<https://sites.google.com/kaisyoforum.com/kaisyoforum/>